



神奈川県

地球温暖化・気候変動への理解と緩和策を考える

基にしたモデル的なプログラム	地球温暖化を学び学校の省エネを考える「フィフティ・フィフティ」プロジェクト
作成団体	特定非営利活動法人FoEJapan
地域プログラム化メンバー	神奈川県環境農政局環境部環境計画課、川崎市環境局総務部環境調整課、認定特定非営利活動法人アクト川崎
実証協力校等	川崎市立子母口小学校、川崎市立上丸子小学校

SDGsの要素	 
ESDの要素	   有限性 連携性 責任性
能力／態度	   未来 多面 参加

● プログラムの概要

地球温暖化・気候変動の原因、現状、さまざまな取組を地球規模、または市のレベルで学ぶ。省エネルギー、グリーン購入、3Rの3つの視点から温暖化防止活動の取組を考え、学校と家庭で実際に行動する。1～数ヶ月実践した後、結果をふりかえり、成果と課題を明らかにするとともに、より良い取組とするための提案を作成し、発表する。

● プログラムの目標

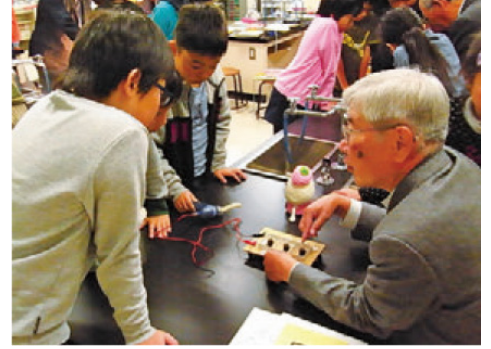
1. 地球温暖化の今までの温度上昇割合と、科学者による今後の予測を知ること、問題を理解する。
2. 市内、区内の様々な取組を知ること、自分たちでも出来ることがあることに気づく。
3. 身近な生活の中の自分たちの振る舞いが、地球規模の環境に影響を与えていることに気づく。
4. 省エネ、グリーンコンシューマ、3Rの分野で、家庭と学校でできる取組を考えて実践する。
5. 取組を成果と課題を明らかにし、改善するとともに、地域の人や校内で発表する。



ストップ温暖化ゲームで温暖化を防ぐ方法を学ぶ



空気と二酸化炭素の2種類のガスで覆った地球の模型を使って、地球の暖まり方を比較



手回し発電機を使って色々な光源を光らせて、電力消費量の違いを実験

● 参加者の声

- 2100年に地球温暖化がどうなっているかが、テレビを使ってよくわかった。
- どのようにして地球温暖化がおこるのがアニメでよく分かった。ぼくも地球温暖化がすすまないように心がけたいと思う。
- 二酸化炭素をふやさないようにすることが、スゴロクでとてもわかりました。家で増やさないように、自分のしていることを続けたいです。

● プログラムの流れ

1 時間目	地球温暖化はなぜ起こるのだろう？
2 時間目	身近なところでの取組を知る
3 時間目	暮らしと地球温暖化
4 時間目	電気を作ってみよう
5 時間目	買い物と地球温暖化の関係を考えよう
6 時間目	「3R」とは何だろう？
継続	行動しよう
7 時間目	行動の結果をふりかえろう
8・9 時間目	みんなに伝えよう！